

えと文

山口洋司



マルセル・マルソーを

### 通しての自画像

白塗りの顔に真っ赤な口紅、目もとに映ゆるはこれまたあざやかな朱——御存知、マルセル・マルソーである。

マルソーのような名優をモデルにするのは少々はばったいが、ある写真に触発されそのとりにこになってしまったのだ。そして凝視めれば凝視めるほどマルソーが僕に見えてくるのではないか。その混沌とした暗闇に沈めたピエロの姿が。つまり、そこでは僕の内燃作用によって、マルソーが僕の鏡となったのだ。

あとは、その鏡にむかって、*「自画像」*をつくるのだ。あたかもマルソーが舞台上で己の肉体と闘うがごとく。

やがて飛びたつための様子をうかがいながら——。

あなたの*「自画像」*にも見えて来ませんか、僕のマルセル・マルソーが。

(昭35大法卒・読売テレビ勤務)